

におじょうあと  
**仁尾城跡**  
 ～落城伝説と八朔祭り～

3月3日はひな祭り。前回に引き続き、行事にちなんだお話を紹介します。

仁尾町の覚城院は仁尾城(仁保城とも)跡と言われ、市の史跡に指定されています。しかしその歴史については明確なことはわからず、伝承に頼るほかありません。

戦国時代仁尾の地は、三管領の一家として中央で重きをなした細川家の流れを汲むと言われる細川頼弘よりひろが治めていましたが、天正7年(1579)に、土佐の長宗我部元親勢の侵攻により落城したと伝えられています。その際に戦死した頼弘きんこうじのものと言われる墓は近くの金光寺にあります。

江戸時代になって、承応元年(1652)に山崎豊治とよはるが三野郡に初めて入った際にも、この地に陣屋を構えたという説もあり、現在も残っている見事な石垣はその名残かもしれません。ちなみに、村人は落城の悲劇を悼み、落城した3月3日には女子のひな祭りを行わず、旧8月1日の

八朔に、男子の馬節句と一緒に祝うようになったとされています。これが平成15年に『ふるさとイベント大賞(総務大臣表彰)』を受賞し、全国的に有名になった『仁尾八朔人形まつり』のいわれです。

この祭りでは、家々の座敷などの広間を利用し、歴史上の物語やおとぎ話などを題材にミニチュアの舞台が作られて、多くの見学客を集めており、三豊市を代表する行事の一つとなっています。

仁尾城および城主については、まだまだ不明確な部分が多く、今後新たな資料の発見が期待されます。

<生涯学習課>



## 今月の市民力

市内各所で地域住民による河川清掃が行われています。財田川でも、草が枯れる冬の時期にあわせて河川清掃を行っています。私たちの財産である川を守るため、地域住民総出で土手や川の中に生えた草を刈り、ゴミを拾い、環境の美化に努めています。多くの人の善意と努力によって川の環境が保たれているのです。

また、この清掃活動には小学生も参加しています。活動に参加することで、地域貢献の精神と自然や環境に対する関心を高めてもらうためです。これからも「私たちの川」という意識のもと川を守っていきましょう。

